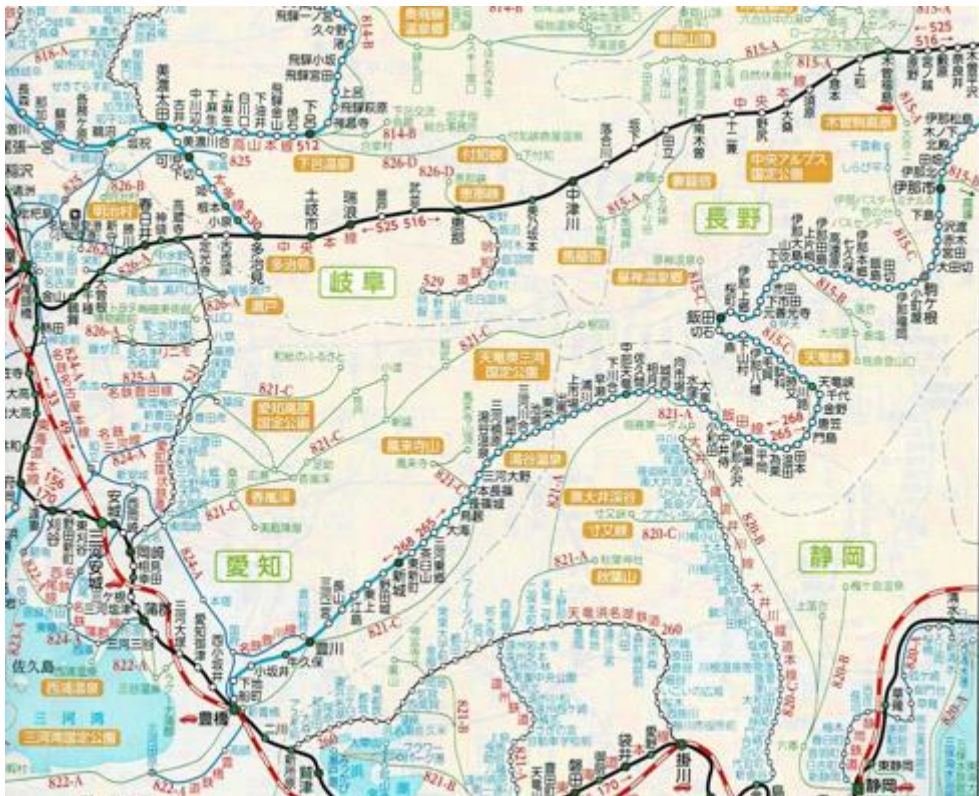


第4章 飯田線下見

第1節 概要

2022年7月25日(月)から一泊2日の予定で、青春18きっぷを活用し、飯田線下見の旅に出る。なお、飯田線(辰野～豊橋:営業キロ195.7km)のうち、本長篠から豊川まで(2017年11月4日(土):23.4km)と豊川から豊橋まで(2019年3月23日(土):8.7km)については、既に踏破済である。



※飯田線路線図

今回初めて、高松一高関東桜紫会 会長代行の溝縁義文氏との二人旅が実現する。その中で、単独行動ではあるが、次の二つの成果物が達成する。



※”**こだわり鉄道つたい歩き**”九カ条のうち、第8条（青春18きっぷの活用）を生かす。御前崎の旅（3枚使用）と飯田線下見の旅（2枚使用）で、7月26日早くも5枚完了！！御前崎の旅の復路で1枚使用の溝縁さんと「青春18きっぷ交換」が功を奏す。

①飯田線と繋げる中央本線（岡谷～辰野:営業キロ 9.5 km）を歩く。今回の歩きを通じ、岡谷～川岸～辰野～信濃川島～小野～塩尻の区間が中央本線（営業キロ 27.7 km）の範疇であることを発見する。改めて、鉄道の重みをひしひしと感じる旅でもあった。

②また、2010年7月24日（土）、第39回わいわい会（高松一高同窓の歩き会）で歩いた豊橋鉄道渥美線において、駅舎写真がもれていた柳橋駅、南栄駅、高師駅に立ち寄りフォローする。豊橋鉄道は、PDFによる”日本横断歩き鉄の旅”シリーズの第40編（琴電・嵐電・叡電・江ノ電・遠州鉄道・豊橋鉄道）として、将来カッシー館ブログで公開を予定している。それ故、不備をフォローしたかった。



※豊橋鉄道路線図

加えて、飯田線は風光明媚な路線の反面、秘境駅が多々登場し、鉄道つたい歩きには骨が折れる路線であると察知する。中部天竜駅掲示のポスターには飯田線の秘境駅として、千代駅、金野駅、田本駅、為栗駅（してぐり）、伊那小沢駅、中井侍駅、小和田駅があった。中部天竜駅の駅員さんのお話しによると、飯田線は辰野～中井侍が長野県、小和田～出馬が静岡県、東栄～豊橋が愛知県とのことであった。飯田線の秘境駅で唯一小和田駅は、数年前大雨などにより橋が決壊し、修復がないため立ち寄ることができないとのことであった。しかしながら、これまでの歩き実績を生かし、“鉄道つたい歩き”で小和田駅を除く秘境駅を是非立ち寄りたいたいものだとの夢が膨らむ。難しい路線故、ファイトも倍増する。



この地信州天龍峡は、天龍川の清流によって侵蝕襲摩された景勝地であり、天龍奥三河国定公園に指定されています。

弘化4年(1847)の昔、岡山の漢学者 阪谷朗庵により「天龍峡」と命名されました。

その後、明治15年、書聖と仰がれた書道家 目下部鳴鶴が来峡し「十勝」が選ばれ、鳴鶴の自筆書によりそれぞれ奇岩に文字が刻まれています。明治16年12月磨崖文字が完成。そのほとんどは、川下りの船上から眺望が出来ます。

名勝 天龍峡 磨崖の碑「十勝」のご案内

- 姑射橋 (太田橋) 中国古代の「莊子」に記されている不老不死の神仙郷郷姑射山にちなんで命名された。
- 鷹鷹崖 (鷹待岩) 鷹の帰って来る崖・仙郷に住む仙人が鷹狩りをした際の岩であるとされている。
- 鳥帽子 (えはし岩) 仙人がこの幽峡で酒宴をし酔って鳥帽子を忘れ去ったところから出現した岩である。
- 煙々潭 (てらが淵) この崖下の深淵には巨龍が棲み、水底より煙々と光る龍の眼光が見られたところ。
- 浴鶴巖 (つるしね) 水面で鶴の群が、その縞模様の羽を美しく水浴させていたところから命名された。
- 龍角峯 (花立岩) 天龍川の深淵に住む龍が、ある時天に昇った時、その崖に突然出来た「龍の化身」と伝えられている。
- 芙蓉巖 (富士の巻狩) 岩面に白い縞模様があり、富士山と富士の巻狩り場面の絵図が隠れたところから命名。
- 権魔洞 (ひさし岩) ひさし状に岩が突き出て、仙人や権人が雨露をしのいだとされる洞状の岩である。
- 仙牀磐 (千畳敷) 仙人たちが、不老不死の金丹を練った場所と伝えられる千畳敷の岩である。
- 垂竿磯 (さぶり) 仙人が、苔むした岩に腰をおろし、好んで釣糸をたれたとされている。

一方、中部天竜駅のポスター（青春18きっぷ活用）に、2021年2月21日（日）に踏破した長崎本線の小長井駅の駅舎が登場に感動する。長崎本線は”日本横断歩き鉄の旅”の第12編（長崎本線・唐津線）で、カッシー館ブログ公開に加え、国立国会図書館にも納本済みである。

充実した乗り鉄の二日間であった。沿線の風景の堪能あり、観光あり、歩きあり、友との飲み会あり、旅はいいものですね。

(^^♪・・・・(^^♪・・・・

早速、溝縁さんから心温まるメールを恵送頂く。ご紹介します。

○写真良く撮れていますね。よくいきました。青春切符有効に活用して良かった。電車旅もなかなかいいもんだね。

○樫原さん良くブログ記事をまとめたね。御前崎から青春切符旅飯田線と写真入り、説明に加えて、飲み会、反省会お疲れ様でした。山陰方面気をつけて！！

第2節 旅プラン

飯田線下見の旅（青春18きっぷ活用）

○7月25日（月）晴れ

町田 6:34 → 八王子 6:59

八王子 7:16 → 高尾 7:23

高尾 7:41 → 小淵沢 10:13



※小淵沢駅

小淵沢 10:45 → 岡谷 11:41

岡谷～川岸～辰野（中央本線：営業キロ 9.5 km）



※岡谷駅

辰野 15:03 → 飯田 17:16



ホテルニューシルク泊 0265-21-2111

○7月26日（火）晴れ／雨

飯田 7:40 → 天竜峡 8:11

天竜峡観光

天竜峡 9:14 → 中部天竜 10:41

中部天竜 11:36 → 豊橋 13:23

豊橋鉄道駅舎写真リカバリー（高師駅、南栄駅、柳橋駅）

豊橋 15:25 → 掛川 16:27

掛川 16:37 → 熱海 18:43

熱海 18:55 → 藤沢 19:58

第3節 中央本線（岡谷～辰野）

2022年7月25日（月）晴れ、溝縁さんと一緒に岡谷駅まで一緒に乗り鉄の旅を楽しむ。途中、小淵沢駅で30分位の待ち合わせ時間があったので、10時20分、小海線で踏破した際立ち寄った馬前で記念写真を撮る。岡谷駅は、2005年7月23日（土）、諏訪湖一周した第18回わいわい会（高松一高同窓の歩き会）の際、立ち寄った駅舎であったので、溝縁さん共に懐かしむ。特に、溝縁さんの提言で岡谷駅界限にある神渡酒造元の豊島屋に訪れた場面が昨日のように思い出された。



※岡谷駅

岡谷駅を記念写真撮影後、溝縁さんとは別行動となる。溝縁さんは電車で移動し、飯田駅界隈の観光、私は中央本線の岡谷駅から辰野駅までの営業キロ9.5 kmに挑戦する。一人旅ではないので、辰野駅 15 時 3 分発の天竜峡行きに間に合わせる必要があり、加えて溝縁さんが携帯を自宅に忘れたこともあり、多少プレッシャーを要する。各駅舎の到着時刻は次の通り。

岡谷（11:49）～川岸（12:48）～辰野（14:27）

①用意した地図をもとに、3.5 kmある川岸駅を目指す。11 時 56 分、万歩計で106 歩ある川を渡る。再び川を渡った先で県道 14 号線（下諏訪辰野線）に合流する。12 時 8 分、みどり湖駅への中央本線下を潜る。12 時 36 分、95 歩ある観蜚橋を渡る。その先で JR 線を跨ぎ鉄道の左側となる。その先に川岸駅（12 時 48 分）があった。



※川岸駅への路



※観蜚橋、川岸駅



※川岸駅

②13時3分、シルキーバス駒沢バス停前を通過。13時16分、JR線を跨ぎ鉄道の右側となる。13時30分、岡谷市から辰野町となる。山間が続く。13時22分、伊那22kmと記した道路標識前を通過。近くに鰻を食べさせる店があった。立ち寄りたかったが、先を急いでいたためパスする。13時38分、飯田方面の上り電車が通り過ぎてゆく。14時、ほたるの里休憩所前を通過。14時2分、JR線を跨ぎ鉄道の左側となる。14時13分、上野川（平出橋）を渡る。その先で右折し、再度川幅がかなりある橋を渡る。親切にもこの先で道筋を教えてくださいました。住人の方から、車で追い掛けて来て、「間違った道筋を教えてくださいました。正解は真っ直ぐです」との訂正がある。感謝と感激で一杯となる。御礼を言って別れる。道筋を直進した先でJR線にぶつかる。JR線を歩いた先に辰野駅（14時27分）があった。



※鰻パス、岡谷市から辰野市



※辰野駅への路



※辰野駅への路



※辰野駅

この駅で中央本線と飯田線の路線図がやっと理解できる。辰野駅から岡谷駅、飯田駅方面は上り、塩尻方面は下りとなっていた。上りが二つあるので驚いた。辰野から塩尻は折り返し運転によるダイヤ構成であった。中央本線は JR 東日本、飯田線は JR 東海であった。それ故、辰野駅で両社の駅員が交替する場面があり、今やっと理解できた。

これで通算営業キロは、**1万3千569 km (活動日数 664 日、日本の鉄道の 49.0%、地球円周の 33.9%)** となる。



※辰野駅

③15時3分の電車で飯田駅までの乗り鉄の旅を堪能する。道筋を見ながら車窓からの風景を楽しむ。駒ヶ根駅位までは平坦であったが、この駅を過ぎた辺りから、電車は山間を走る。民家が概ね、左手下にあった。洒落た駅舎である飯田駅には17時16分到着。そして、粋なホテルシルクには17時34分到着。到着するや否や溝縁さんに到着の旨の電話（内線）を入れる。



※辰野駅、元善光寺駅、飯田駅

④大浴場で汗を流した後、18時過ぎ、ホテル界隈の居酒屋”ひがしの”で溝縁さんと懇談する。そして、ホテルに戻った後も二次会で飯田の町を楽しむ。酩酊しお開きの時間は記憶にはないが、飲み屋で持ち帰った黒霧島のボトルは空っぽであった。恐らく22時過ぎまで飲んだのであろう。久し振りに楽しい時間を過ごすことができる。溝縁さんに感謝の気持ちで一杯となる。



※ホテルシルク、ひがしの



第4節 飯田線下見

2022年7月26日（火）晴れ／雨、ホテルで朝食済ませ、7時10分チェックアウトする。飯田7時40分の電車で天竜峡駅まで移動する。天竜峡発車時刻まで約1時間あったので、天竜峡や龍角峯などを溝縁さんと一緒に観光する。最後に姑射橋で景観な天竜川を堪能する。



※飯田駅



※飯田駅、天龍峡駅



※田尻稻荷神社、名勝天龍峡



※龍角峯を背後にして、姑射橋



※姑射橋



※天竜峡駅

天竜駅 9 時 14 分の電車で中部天竜駅を目指す。約 1 時間半の道中、沢山の秘境駅に遭遇する。沿線に沿って天竜川と森林が続き、民家や幹線道路は殆ど対面できず。天竜峡駅から中部天竜駅までの歩き（営業キロ 53.8 km）が大変であることをひしひしと感じる。千代駅から小和田駅までで温田駅と平岡駅以外は殆ど車窓から民家を見かけなかった。また、トンネルが沿線上多々登場す

る。10時20分、水窪駅辺りで晴れマークから雨マークとなる。それ故、車窓からの風景は曇りガラスとなり、沿線の風景は鮮明に見えず。立ち寄れない小和田駅をラッキーにもカメラに収めることができる。



※金野駅、平岡駅、小和田駅

そんなことを考えているうちに、終点の中部天竜駅に到着。中部天竜駅で47分の待ち時間を利用し、当初この界隈の散策を考えていたが、小雨模様のため中止する。その代わりに、駅員さんに沿線の状況などを教えて頂く機会を得る。この時間帯は、将来飯田線を踏破する際の事情を色々教わり大変勉強となった。



※中部天竜駅



※飯田線の秘境駅

飯田線 Iida Line		出 発 時刻		豊橋方面	
駅名	距離	出 発	時刻	平日	休日
豊橋	1,170	上 野	210	5	25**
前 町	1,170	浦 川	190	6	3**
下 地	1,170	早 瀬	190	7	1** 42**
小 坂 井	1,170	下 川 合	150	8	21**
牛 久 保	1,170	豊 橋 駅		9	21**
豊 川	990	佐 久 間	150	10	
三 河 一 宮	990	相 月	210	11	62** 26**
長 山	990	城 西	210	12	
江 島	990	向 市 場	240	13	
東 上	860	水 窪	240	14	17**
野 田 城	860	大 嵐	330	15	21**
新 城	770	小 和 田	420	16	21**
東 新 町	770	中 井 侍	510	17	42**
茶 臼 山	770	伊 那 小 沢	510	18	21**
三 河 東 郷	770	寛 業	590	19	
大 海	680	平 岡	590	20	3**
鳥 居 尾	680	為 業	680	21	3**
長 篠 城	590	温 田	770	22	
本 長 篠	590	田 本	860	23	
三 河 大 野	510	門 島	860	0	
湯 谷 温 泉	510	唐 五	990		
三 河 橋 原	420	金 野	990		
柿 平	330	千 代	990		
三 河 川 合	330	天 竜 峡	990		
池 端	240	川 路	1,170		
東 栄	240	崎 又	1,170		

※中部天竜駅

中部天竜駅 11 時 36 分の電車で豊橋駅を目指す。溝縁さんと先頭車両に移動し、運転手から見た風景を堪能する。随所に木々のトンネルを通過する場面が多々登場する。本長篠駅からは豊橋駅までは踏破済なので、苦労した場面や懐かしい駅舎が多々登場する。



※豊橋駅、壺屋

豊橋駅には13時23分到着する。駅前の立ち食い蕎麦屋”壺屋”に立ち寄り遅い昼食とする。ここで溝縁さんと別れ、豊橋鉄道の3駅のリベンジに向かう。10種類の渥美線カラフルトレインには改めて感動する。第39回わいわい会の12年前の懐かしい記憶が朧気に思い出された。



渥美線カラフルトレイン
COLORFUL TRAIN

1年を通して様々な花が咲く渥美半島。ここに訪れる方へ「渥美線カラフルトレイン」が、旅に彩りを添えます。「渥美線カラフルトレイン」は、咲き誇る渥美半島の花々をデザインした10色のカラフルな電車です。さて、あなたは何色に乗って渥美半島へ旅立ちますか。

※車両検査等の都合で、花の時期に運行出来ない場合があります。
※車両の運行ダイヤはご案内いたしかねます。ご了承ください。

つばき【1803号】 豊橋市の花として公園や道路に多く植えられている	ばら【1801号】 農業産出額では、田原市は市町村別で全国トップレベル	桜【1809号】 向山緑地(豊橋市)や滝頭公園(田原市)では多くの花見客で賑わう
菜の花【1807号】 田原市の花として、渥美半島に早春を告げる花	してこぶし【1806号】 藤七原湿地植物群落は、田原市の天然記念物に指定	菊【1810号】 電照菊のハウスの灯りが美しく渥美半島を彩る
ひまわり【1804号】 夏に道路沿いやサンテバルクたはらなどで楽しめる	菖蒲【1805号】 賀茂しょうふ園(豊橋市)や初立池公園(田原市)で梅雨の時期に楽しめる	椿【1808号】 つばき公園(田原市)では200種500本の椿が楽しめる
		はまぼう【1802号】 自生北限である田原市堀切町の自生地は愛知県天然記念物に指定

※10種類のカラフルトレイン



※新豊橋駅



※豊橋鉄道の路線図

豊橋鉄道のリベンジを終え、豊橋発 15 時 25 分の電車を起点に帰宅の途につく。掛川、熱海、藤沢と乗り継いで、自宅には 20 時 35 分到着。久しぶりに青春 18 きっぷの旅を満喫・堪能でき、最高の二日間であった。溝縁さんこの場をお借りし厚く御礼申し上げます。8 月に入ってからも、山陰本線の仕上げの旅（出雲市～益田）などに挑戦します。旅はいいものですね。



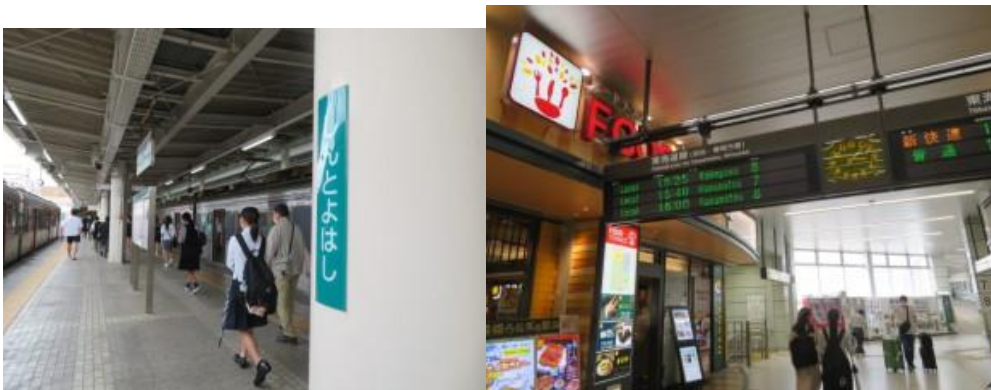
※新豊橋駅（ひまわり）、高師駅



※15 分かけて高師駅から南栄駅まで歩く（雨は上がっていた）



※南栄駅から柳橋駅までは電車で移動する



※新豊橋駅、豊橋駅



※掛川駅、熱海駅